

10月臨時会

城坤コミュニティセンター
改築工事関係
議案を可決

議案を可決

10月27日、臨時会が開かれ、城坤コミュニティセンター改築工事に関係する議案を2件、審議しました。

議案は委員会への付託を省略して審議され、質疑、討論はなく、全会一致で可決しました。

議案の内容

▼議案第76号 一般会計補正予算(第4号)

城坤コミュニティセンター整備事業の工期変更により、次年度に繰り越して使用する経費の限度額を定めるもの

▼議案第77号 工事請負契約の締結(城坤コミュニティセンター改築工事)

株式会社丸井工務店を相手方に、工事請負契約を締結することに議決を求めるもの

平成29年10月臨時会 審議した議案とその結果

議案番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	審議結果		
	武田 孝三	竹田 英司	東 由美	中谷真裕美	神田 泰孝	岡田 剛	大西 浩	香川 勝	三宅 真弓	川田 匡文	真鍋 順穂	松永 恭二	多田 光廣	横田 隼人	小橋 清信	横川 重行	松浦 正武	加藤 正員	山本 直久	大前 誠治	福部 正人	内田 俊英	水本 徹雄	国方 功夫	片山 圭之			
議案第76号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
議案第77号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

○：賛成、●：反対 ーは除斥または欠席した者です。

松永恭二議長は採決に加わっていません。

平成29年中の議会活動状況

本会議運営状況				委員会等開催状況				
区分		定例会	臨時会	合計	区分		委員会	協議会等
招集回数		4	2	6回	常任委員会	総務委員会	5	3
会期延日数		108	2	110日		教育民生委員会	5	6
本会議日数		28	2	30日		都市経済委員会	5	11
本会議日数		28	2	30日		生活環境委員会	5	3
議案議決内容	原案可決	100	2	102件	特別委員会	市庁舎及び市民会館整備等特別委員会	11	
	原案否決	1	0	1件		行財政改革特別委員会	13	
	専決承認	0	2	2件		議会改革特別委員会	9	
	その他	6	2	8件		予算決算特別委員会	12	
計	107	6	113件					
選挙・選任 請願 陳情 決議・意見書	選挙・選任	5	4	9件	その他	全員協議会	13	
	請願	7	1	8件		議会運営委員会	15	
	陳情	0	0	0件		各派会長会	11	
	決議・意見書	2	0	2件		広報広聴委員会	11	

市庁舎及び市民会館整備等特別委員会には、改選前の市庁舎整備等特別委員会を含みます。

意見交換会

丸亀市議会初の試みとして、常任委員会ごとにテーマを設定して意見交換会を行いました。



**高校生など
多くの若者が参加**
88名の参加者のうち、約30名が市内の高校、大学校に通う10代、20代の若者でした。議会から各常任委員会へ審査した内容の報告を行った後、意見交換会に入りました。政治について高校生が感じていること、疑問に思うことなどの率直な意見のほか、各高校が取り組んでいる政治参加教育が紹介されました。若者の政治への無関心が課題とされていますが、今回の

総務委員会

若者の政治参加

丸亀市生涯学習センター

11月13日(月)
午後5時30分

意見交換会でいただいたご意見を参考に、我々市議会もより分かりやすく市民に開かれたものとなるよう努力してまいります。

会場アンケートのご意見

- 政治について調べようとしても、勉強や部活で忙しく難しい。市から情報発信を積極的に行ってほしい。(高校生)
- 政治に興味がある人もない人もいる。学校で政治教育をしてはどうか。(高校生)
- 議会だよりは分かりにくい。見ようと思えるものにする必要がある。(高校教員)
- インターネットを利用して18才未満の意見も聞けるようなシステムができればよい。(高校生)
- 勉強する場所にも困っている。商店街に自習室をつくれれば商店街の活性化にもつながるし、そこで政治参加の啓発もできると思う。(高校生)



産業振興の取り組み
産業や観光の振興に関するテーマが設定された意見交換会には、市内企業や経済団体を中心に、52名のご参加をいただきました。これまでの意見交換会は、議員と参加者が対面する座席配置でしたが、今回は議員と参加者が車座となり、活発に意見交換を行いました。本市の経済・観光を支える参加者の方たちから、産業振興や観光振興の政策的な提言だけでなく、議会報告会・意見交換会という取り組みを開催して終わりにせず、次につなげる必要があるとの

都市経済委員会

地元企業の人材確保 企業誘致、丸亀市のイベント

四国Cスタ丸亀

11月14日(火)
午後6時30分

ご意見をいただきました。いただいたご意見をまちづくりにかけるよう、議会としてしっかり取り組んでまいります。

会場アンケートのご意見

- イベントなどでお客様を呼ぶためには公共施設のトイレを清潔で安心して使えるものにする必要がある。
- 企業誘致においては、誘致対象企業の大きさ、業種などことに柔軟な支援を行うことや、定住自立圏域の行政が連携した誘致活動の推進を検討すべき。
- 愛媛県や島根県の取り組みを参考に、本市も人材確保の取り組みを拡充するべき。
- 内陸部での企業立地の希望も多い。大規模用地の情報や市有地の情報などを提供いただきたい。
- このような意見交換会はいいこと。運営方法などを改善しての次回を期待する。



議会報告会

生活環境委員会

スポーツ振興

丸亀市民体育館

11月14日(火)
午後6時30分

どの世代もスポーツに親しめる環境づくりを

地域でのスポーツ推進に携わる方など23名の方が参加し、スポーツ推進をテーマに意見交換会を行いました。

議会報告についての質疑応答の後、意見交換を行いました。

ほかの会場に比べて参加人数は少なかったのですが、その分参加者の意見を丁寧に聞



くことができたとおもいます。今回いただいたご意見を参考にしながら、市民が気軽にスポーツに親しめる環境が整ったまちづくりに取り組みたいと思います。

会場アンケートのご意見

● 地域でニュースポーツ推進に取り組んでいるが、丸亀はほかの市町に比べて道具も指導者も不足している。市も力を注いでいただきたい。

● かつて運動公園にテニスコートを16面整備するという計画があり、テニス関係者が待ち望んでいたものの進んでおらず、市にも当初の増設計画を知る人がほとんどいないという状況となっている。ぜひとも整備をお願いする。

● スポーツ少年団の指導を行っている。これからさらに指導に取り組みたい。市のスポーツ推進、強化につながる協力をしたい。

教育民生委員会

学校教育

飯山総合学習センター

11月21日(火)
午後7時30分

教育現場での疑問・要望

小中学生の保護者など56名の方にご参加いただきました。

特別支援学級の現状や老朽化が進む学校施設の状況など、保護者を感じている学校教育への疑問、要望など多くの意見を聞くことができました。

参加者から「学校に要望しても予算不足を理由に対応してもらえない」というご意見をいただきました。市の施策、事業には予算が必要であり、残念ながら全てのご希望に沿えないのが実情です。



議会では、皆様からお聞きした学校現場の問題点や現状を把握し、限られた予算でよりよい解決ができるよう取り組んでまいります。

会場アンケートのご意見

● PTA会費の使い方に疑問がある。本来、学校の公費で賄うべきものにPTA会費が使われているのではないかと。

● 子が特別支援学級に在籍しているが、支援員が不足しており、保護者が付いていないければならない現状がある。現状を知ってほしい。

● 垂水小学校は老朽化している。学校は災害時には避難場所にもなる。一度見てほしい。

● 給食費無償化の議論は進んでいるのか。

● 丸亀市のいじめの現状は、完全米飯給食を実現してほしい。

市長に意見書・提言書を提出

行財政改革特別委員会の 事業ヒアリングを踏まえた意見書

行財政改革特別委員会では、市の511事業から170事業を選定し、各担当部局にヒアリングを行い、その内容を踏まえて委員間で討議を行いました。

討議の結果、予算執行のあり方、事業の方向性など74の事業について出された意見を意見書として取りまとめ、市長に提出しました。

意見書の主な内容

● 市民相談室の再構築

現在、ふるさと納税に関する事務も行っている市民相談室の役割を見直し、市民からの相談に特化したものとするべき

● 防災アドバイザーの廃止

現在の形の防災アドバイザーの役割は終了したと思われるため廃止し、経験ある者の再任用等へ移行するべき

● 敬老祝金・敬老会参加年齢の検討

高齢者の増加傾向を踏まえ、敬老祝金の減額、敬老会参加年齢の引き上げを検討するべき

● 市民球場管理運営の民間委託

民間委託を早急に実施するべき



市長はじめ市幹部に意見書の内容を説明する行財政改革特別委員会委員

予算決算特別委員会の 決算審査を踏まえた提言書

昨年9月の定例会において、予算決算特別委員会では平成28年度決算の審査を行いました。

決算の審査結果を次年度予算に反映させるという「PDCA」サイクルの趣旨から、特別委員会全委員の賛同を得られた意見を提言書として取りまとめ、市長に提出しました。

提言書の主な内容

- 老人クラブ加入者の減少傾向が続いているので、実効ある対策を講じるとともに、社会福祉協議会への運営移転後も外部任せとならないよう市も見守ること
- 猪熊弦一郎現代美術館の運営手法について、市民や外部有識者の意見を取り入れるなど本格的な見直しを行うこと
- 離島住民の救急搬送の改善を図ること
- 17コミュニティのうち10しか存続していない婦人会の必要性、問題点などを洗い出し、真に機能する姿にするべく政策を練ること
- 児童数が多い青い鳥教室の支援員加配など改善を検討すること
- 0～2歳児の保育受け入れ体制を整えること



市長、副市長に提言書を手渡す松永議長、三宅副議長

編集 後記

平成24年に初めて開催した議会報告会も今年で6年目。これまで多くのご参加をいただき、丸亀の現在と未来についてたくさん語り合いました。

昨年11月の議会報告会では、広く市民の意見や思いをお聴きするため、初の試みとなる「意見交換会」を行いました。開催日を3日に分け、会場ごとに意見交換テーマを変えて周知したところ、若い世代から高齢者の方まで大変多くのご参加をいただき、どの会場でも実りのある意見交換ができました。

今後、議会報告会・意見交換会をより充実した内容にするために、今回ご参加いただいた方からの貴重なご意見などを大いに生かしていきます。

「私たち一人一人の無関心。それが民衆の敵なんです」この言葉は、昨年に政治をテーマにしたテレビドラマ「民衆の敵」の最終回で、市長である主人公が言ったせりふです。

たとえ小さなことでも丸亀市民として何ができるのか。この瞬間から共に考えましょう。

広報広聴委員長 水本徹雄